



令和3年9月24日

立川市議会

議長 福島 正美 殿

立川市議会 文教委員会

委員長 大沢 純一

## 行政視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 視察月日

令和3年6月29日

#### 2 視察地及び視察事項

視察都市名	視 察 事 項
立川市内	立川市立立川第三中学校 放課後学習室 (SSR)

#### 3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

## 視察報告書

【日 時】 2021(令和3)年6月29日(火)15:30~16:30

【視 察 先】 立川市立立川第三中学校(立川市羽衣町 3-25-6)

【視察目的】 放課後学習室(SSR)

【視 察 者】 立川市議会文教委員会

(大沢純一(委員長)、くぼた学(副委員長)、福島正美、中山ひと美、江口元気、中町聡、わたなべ忠司)

【対 応】 立川第三中学校・副校長 横山勝行 氏

### 【視察実施経緯】

2020(令和2)年2月8日(土)に開催した「第7回 市民のみなさんと市議会議員との意見交換会」では、「立川の未来」とのテーマで市内在住・在学の中学生と高校生から様々な意見を聞いた。

そのなかで、立川市内の図書館には自習できる場所が少ないとの指摘があり、自習する場所を求める意見が出された。

その後、所管する文教委員会として、市に対して市内図書館での自習スペース拡充の可否を確認した。中央図書館では2019年3月に視聴覚コーナーであった場所に学習席を設置しているが、それ以上の確保については今後取り組んでいきたいとの回答があった。また、学習館等の施設では夏休み期間に「夏休み学習室」を設けている他、館によって可能なスペースを設けているという実状も示された。

そのうえで、学校の放課後の教室利用について市としての可否を聴取したところ、児童や生徒のみでの利用は安全確保の面から難しいという見解が示されたが、その一方で、立川第三中学校では教室を生徒会が主催し、自習室として開放している事例が紹介された。

そこで今後の他校での実施を検討するため、委員会として現地を視察した。

### 【詳細報告】

視察した立川第三中学校(以下「三中」)では、この放課後の自習室を「放課後学習室 SSR(Sanchu(三中) Study Room)」と名付けて実施をしている。

当日は1年生から3年生まで各学年1教室が自習室として開放されており、横山副校長の案内で各教室を視察したが、どこも生徒が熱心に学習する様子が見られた。

委員会において市との質疑の中で示された課題の中心は、自習室を開放している間に誰が管理をするか、ということである。これについて三中では、教師や学校支援員の他、教育実習生として関わった先生が見回り、管理に携わっている。

先に市から紹介された事例としては、この取り組みは生徒会主催とされていたが、コロナ禍ということもあり、現状は生徒の求めに応じて学校が実施するという形が取られている。ただし、これまでは事前の紹介通り生徒会の主催で実施されており、その場合には生徒会の求めに学校が応じるという形での実施となる。学校としてはコロナ禍が収束して学校運営が通常に戻ることがあれば、あらためて生徒会主催としたいとのことであった。

### 【所感】

SSRの実施にあたっては、見守りのために教師や支援員の協力が不可欠である。三中では、多くの方の協力を得られる環境が実施を可能にしている一方で、今後の人員の確保を課題とも捉えている。

これと同様の取り組みを市内全校で実施していくには、三中と同じように協力を得られる方がどれだけいるかが課題であり、これには各地域の実情で差が出てくると考える。

ただし、この放課後学習室が生徒会をはじめとした生徒の自発である面は大きく評価するところであり、そうした向学心を受け止めるためにも、市内全校で「できること」から展開していくことを求めたい。